

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
佛教大学紫野キャンパス整備に伴う新棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート 実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					3.4
Q1 室内環境			0.40		3.1
1 音環境		3.3	0.15	-	3.3
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-
2 設備騒音対策		-	-	-	-
1.2 遮音		3.9	0.40	-	-
1 開口部遮音性能	T-2レベル以上の性能のサッシの採用	5.0	0.30	3.0	-
2 界壁遮音性能	主要居室間の界壁ではDR-42以上の遮音性能の間仕切りとする	4.0	0.30	3.0	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-
2 温熱環境		3.0	0.35	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-
4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-
5 温度・湿度制御		-	-	-	-
6 個別制御		-	-	-	-
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-
8 監視システム		-	-	-	-
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-
3 光・視環境		2.9	0.25	-	2.9
3.1 昼光利用		2.8	0.30	-	-
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	-
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-
3 昼光利用設備	アトリウムを利用し、昼光を室内に取り込む	4.0	0.40	3.0	-
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-
1 照明器具のグレア		-	-	-	-
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-
3.3 照度		3.0	0.15	-	-
1 照度		3.0	1.00	3.0	-
2 照度均斉度		-	-	-	-
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-
4 空気質環境		3.5	0.25	-	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-
1 化学汚染物質	内装仕上げ材にはJIS規格F☆☆☆☆の製品を使用。	4.0	1.00	3.0	-
2 アスベスト対策		-	-	-	-
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-
4 レジオネラ対策		-	-	-	-
4.2 換気		3.0	0.30	-	-
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-
4 給気計画		-	-	-	-
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	3.7
1 機能性		4.2	0.40	-	4.2
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.40	-	-
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-
3 バリアフリー計画	円滑化誘導基準に対応した上、多くの多目的トイレを設置。	5.0	1.00	3.0	-
1.2 心理性・快適性		3.5	0.30	-	-
1 広さ感・景観	教室の天井高は3.1mとしている。	4.0	0.50	3.0	-
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-
3 内装計画		3.0	0.50	3.0	-
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計	汚れにくい、洗浄しやすい計画としている。	4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保	各トイレごとにSKを設け、十分なゴミ置場スペースをとっている。	4.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-
1 耐震性		3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用し、中水計画をしている。	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.8	0.29	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	講義室階の階高は4m以上としている。	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁面長さ比率の小さい、プランニングの自由度が高い計画として	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		講義室の積載荷重は2900N/㎡としている。	4.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		壁面を後退させ、道路側に緑地を設ける。西側には歩道を計画。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	中庭及び歩道用空地の計画。	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	ピロティ、庇の設置。樹木による日陰の形成。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20	-	-	4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	自然採光、クールビット、雨水の中水利用、自然換気	5.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	屋根面及び壁面の太陽光発電システムを設置。	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=18.6	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水コマ、省水型機器を用いている。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.6	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水再利用システムの導入	4.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材使用	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		3.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		CO2排出量を14%削減	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車スペースの確保、スクールバスの運行。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	